

第1回 戦略的な水環境管理のあり方検討会

議事要旨

1. 日 時 : 令和5年11月6日(月) 10:00~12:00
2. 場 所 : (公財)日本下水道技術機構 8階 中会議室 (WEB 併用)
3. 概 要

○人口減少やエネルギーの問題、低コストで処理を行う技術の導入なども議論の対象になるため、技術開発や知見の集積についても検討の論点に加えてはどうか。

○これまでは地域のニーズに対して、水質という一律の基準の中で費用対効果を考えて対策を実施してきたが、今後は水辺利用や資源・エネルギーの循環などさらに多様なニーズが求められており、それらに対する評価軸をどのように設定するかが課題である。

○全国一律の観点で管理すべき事項、流域ごとに目標を設定して達成すべき事項、流域の中で地域ごとに目標設定して達成すべき事項などに対して、それぞれどのレベルで管理するのかという観点でも議論してはどうか。

○流域的・地域的といったスケールの視点と、優先度を踏まえた時間軸の視点の2軸で論点を整理して、今後議論を進めてはどうか。

○エネルギー消費を考慮した処理方法や施設のスケールダウンは、雨天時処理能力を落とすことにもつながることから慎重な議論が必要である。

○新たなニーズという観点では、環境基準の改正が行われた底層 D0、大腸菌数の項目についても論点として取り上げる必要があり、その対応方法については単に消毒のあり方だけではなく下水道システム全体の視点で議論する必要がある。

○下水道事業が生物多様性にどの程度貢献できており、課題が何かという視点も重要である。

○水道と下水道を一体として、エネルギー、生態系、利水者を考慮した最適配置の検討も必要である。

以上